

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	北海道室蘭市			代表者名	青山 剛
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	ICT推進課	連絡先電話番号	0143-25-2712
担当者役職	主任	担当者氏名	澤田 将	連絡先E-mail	
住所	051-8511 北海道室蘭市1-2				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署		連絡先E-mail	
担当者氏名		連絡先電話番号			

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名	RPA等を通じたDX推進支援事業
概要	RPAの活用・DX・オープンデータ・セキュリティ（三層分離）・業務効率化に関する情報共有と、他自治体の先行事例を通じた助言をいただきたい		
支援を求める分野	オープンデータ EBPM 人材（DX推進のための機運の醸成）自治体セキュリティ RPA導入		

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻		
	令和6年7月24日	支援・助言	13時00分	15時00分	
				活動時間（分）	120

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	本多 康幸
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	RPAを導入している道内自治体間の意見交換・学習の機会を、さらに発展させる取り組みと位置づけて、本年度第2回目を開催した。今回は、8市町村から参加があった。オンライン申請について議論を行った。各自治体の状況の意見交換を行い、課題の共有を行った。本多氏から、それに対する、手立て（解決方法）や事例の紹介を行っていただき、その点についても議論を行った。一貫して議論のコーディネートを担当している本多氏が行ってくれ、建設的な議論ができた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	18人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	3	0	15	
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果					
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	職員が減少していく一方で、窓口手続きについては、減少することなく、むしろ高齢者が増加することで1人あたりにかかる時間が増えている状態。				
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	北見市が先駆者となっている「書かないワンストップ窓口」では、RPAがバックエンドで稼働しており、オンライン申請の場合であっても同様に利用することが可能と考える。実際にオンライン申請に積極的に取り組んでいる自治体の事例を聞くことで、道内全体の窓口業務改善を図りたい。				

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	実際にオンライン申請を推進している、石狩市から事例の紹介を紹介してもらい、申請システムから基幹システムへの登録までについてバックエンドの動きについて学んだ。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンラインシステムを導入する際のコストに対する補助金の利用有無や、補助率などについて実例を交えて確認できた</li> <li>オンライン申請を導入するにあたり、RPAが整形しやすい、入力しやすいように入力項目を考える必要があることが理解できた(特に日付の型)</li> <li>庁内でオンライン申請やRPAの推進を図るためには、庁内でホワイトボードを使いながら職員同士でわいわいがやがや意見交換を行い、実際のアウトプット(ロードマップなど)については、その場で作っていくことが重要</li> </ul>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	④予算以外で、今後取組む事項がある
	<ul style="list-style-type: none"> <li>講演内で紹介いただいた事例</li> <li>全国でのオンライン申請の現状</li> </ul>	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回得た知見を庁内にどのように浸透させて、展開していくかの方針までは時間の制限議論することができなかった。今後予定している支援の中で議論したいと考える	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 意見交換に先立ちアドバイザー作成の状況調査アンケートを行った。各自治体担当者の関心の高さが向え、情報交換に大いに役立った。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
	デジタル人材の育成に着手し、RPAや自治体DXを推進できる職員を育成したい	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	庁内のデジタル人材が、縦割りではなくプロジェクト単位で各課の業務に関与し、多くの市民がオンライン申請により手続きが完了できる状態など、地域全体の情報リテラシーの向上を目指したい。	

具体的にご記入下さい。  
支援を受けた事業が成果  
因(自治体側に内在して)

具体的にご記入下さい。  
支援を受けた事業が成果  
因(自治体側に内在して)

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

